**笑いを加えた学びの作り方**

**―小噺ワークショップ体験―**

パデュー大学

畑佐一味

**ワークショップの目的**

とはので、とても短い笑いばなしのことです。

：先生、私、するのめてなんですが、でしょうか？

先生：大丈夫ですよ。私もめてですから。

はこのようなをじることで、に日本文化やのをやすだけでなく、することのびやを楽しむことを感じていきます。

で、の先生方から「はありますが、私にはできません。」という声が多く聞かれます。そこで、今回は、みなさんににを覚えていただき、他の人たちの前でじていただきます。そので、どのようなことにをつけると、がくなるか、がどんなところに現れるのかなどについて、考えていただきたいと思います。

はさん（　　）と（落語協会員）がしてくださっています。

**な九編**

**手術**

患者：「先生、私、手術するの、初めてなんですけど、大丈夫でしょうか。」

医者：「心配する事はありません、私だって、（手術するの）初めてなんですから。」

**読書**

Ａ：「読書は好きですか。」

Ｂ：「はい、読書は大好きです。」

Ａ：「ロミオとジュリエットを読みましたか。」

Ｂ：「はい、ロミオは読みましたが、ジュリエットはまだです。」

**日本語**

学生：「神様、私の日本語を上手にしてください。」

神様：「何でも言うことを聞くか？」or 「何でもするか？」

学生：「はい、何でもします。」

神様：「勉強しろ。」

**整形手術**

主婦Ａ：「お隣の奥さん交通事故に逢われて、顔を怪我されたんですって。」

主婦Ｂ：「まぁ、お気の毒に。」

主婦Ａ：「でも、整形手術で元の顔に戻ったんですって。」

主婦Ｂ：「まぁ、お気の毒に。」

（Politically correctではないので、気をつける必要がある。）

**写真**

子供：「お父さん、旅行の写真、見せて。」

父親：「いいよ。ほら、これはお父さんがスキューバダイビングの時に撮った写真だよ。」

子供：「あ〜、綺麗だねえ〜。いろんな魚が写っているね。...うわっ、この魚、怖いね！」

父親：「ばか、それはお母さんだ。」

**カレンダー**

子供：「すみません。」

店員：「いらっしゃいませ。（ぼうや）」

子供：「カレンダー、ください。」

店員：「どんなのがよろしいでしょうか。」

子供：「（う～ん）なるべく休みの日が多いやつ。」

**算数の授業で**

先生：「では、あなたがいま6ドル持っていて、お母さんに２ドルちょうだいと頼んだら、あなたはいま何ドル持っていることになりますか？」  
生徒：「６ドルです。」  
先生：「う～ん、あなたは足し算のことをよく理解していないようね。」  
生徒：「先生は私の母のことをよく理解していないようですね。」

**美術館での会話**

　客：「あら～、すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」

係員：「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

　客：「あ～ら、こちらも素敵、ダビンチですわね。」

係員：「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

　客：「あら、この絵なら私にもわかるわよ。ピカソよね。」

係員：「いいえ奥様、それは鏡でございます。

**登校拒否**

母親：「ねえねぇ、早く起きなさい。学校に行く時間でしょ。」

息子：「お母さん、学校になんか行きたくないよ～。」

母親：「え？どうして、行きたくないの？」

息子：「だってぇ、生徒たちは僕のことを嫌ってるし、先生だって僕のこと嫌ってるんだよ。」

母親：「そんなの理由になってないわよ。さあ、起きて支度しなさい！」

息子：「じゃあ、どうして学校なんかに行かなくちゃ行けないのか、理由を言ってよぉ。」

母親：「あなたは校長先生でしょ！」

**指導するときの注意点**

１　言葉をしっかり覚える

２　大きい声

３　発音

４　落ち着いて、ゆっくり

**話を効果的にするポイント**

１　を止める（誰かがいるようなつもりで話す）

２（やりすぎないように）をきる

上下をきる：落語家がの人をじける時に少し右と左に顔を向けること

３　といをうまく使う

４　！（答えは一つではない。）

**教員が学べること・私が学んだこと**

1.　学習者のほうが学習者より笑いが取れる可能性がある。（初級者にとっては励みになる。）

2.　学生のエンジンは直前にならないとかからない。（ただし、学習者が自ら「受けたい」と思うと取り組みに対する熱心さが大きく変わる。）

3.　「」と「外からのお客」の必要性と重要性

4.　にする知識（、り方、かえすこと）

5.　おの

6.　／の

7.　母語話者ができないことを非母語話者がすることで得られる（からの）

8.　小噺は演じ手の力でおもしろくなる。

9.　古典の鑑賞の仕方

参考文献

・[みんなの小噺プロジェクト](http://one-taste.org/kobanashi/)

・[「日本語教育、柳家さん喬、そして、私」中央評論271号 2010年](http://one-taste.org/kobanashi/wp-content/themes/kobanashi/img/documents/chuohyoron.pdf)